



仙波糖化工業株式会社

証券コード : 2916

個人投資家様向け会社説明会資料

2017年9月

目次

I . 会社概要	P 2
II . 更なる成長に向けて	P10
III . 業績予想と株主還元	P22
(参考資料)	P27

I . 会社概要

【プロフィール】

社 名	： 仙波糖化工業株式会社
創 業	： 昭和21年10月4日
代表者	： 代表取締役会長 堀川駿太郎 代表取締役社長 小林 光夫
所在地	： 栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
資本金	： 15億 50万円 （2017年3月末現在）
売上高	： 176億24百万円 （2017年3月期）
発行済株式数	： 11,400（千株）
従業員数	： 391名（連結）（2017年3月末）
主な事業内容	： カラメル色素・焙焼製品等のカラメル製品、粉末茶・粉末醤油・粉末山芋・凍結乾燥野菜等の乾燥製品類、コーンスープ・粉末ソース・味噌汁・小麦粉加工品等の組立製品類、冷凍山芋・冷凍和菓子等の冷凍製品、加工食品素材などの製造販売。
連結子会社	： 仙波包装(株)、(株)東北センバ、クリエイトインターナショナル(株) 福州仙波糖化食品有限公司、SEMBA-NFC VIETNAM

食品の「色・味・香・旨」を演出

こんなところに

● カスタードプリン、
炭酸飲料・コーヒー牛乳 にも…

カラメル
ソース



カラメル
色素

● インスタントラーメン にも…

粉末醤油

うきみ具材の
FDブロック
野菜

鰹節エキス
ポークエキス
チキンエキス

カラメル
色素

● 粉末茶 にも…

煎茶エキス
パウダー

ほうじ茶エキス
パウダー

● インスタントコーンスープ にも…

クリーミング
パウダー

コーン
パウダー

コーンスープ

● 即席味噌汁 にも…

粉末味噌

うきみ具材の
FDねぎ

粉末味噌汁

● とろろそば にも…

粉末山芋

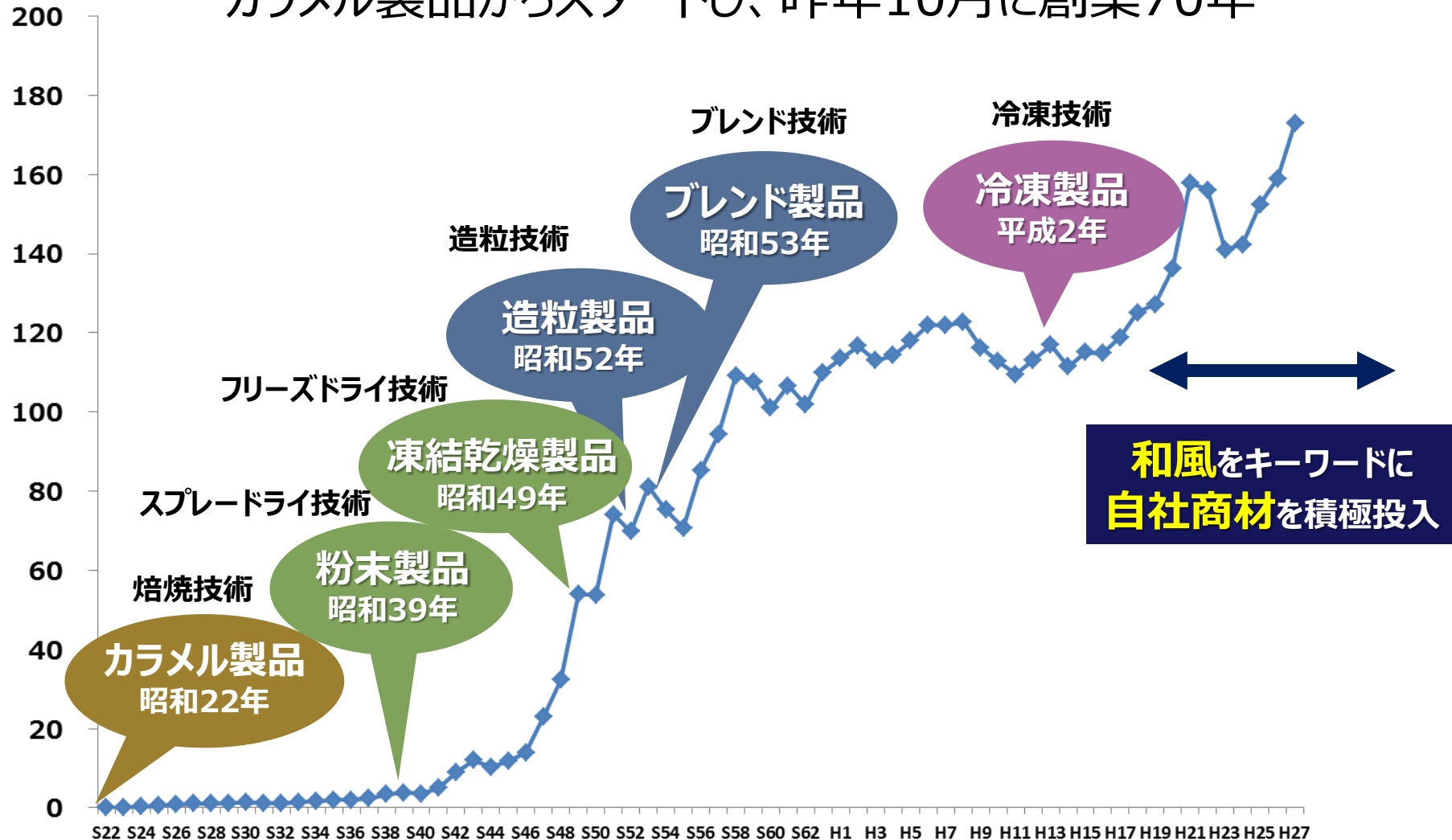
冷凍山芋

企業向け**受託商材**と業務用・消費者向け**自社商材**の製造・販売

当社の業容拡大の歴史

売上高
(億円)

カaramel製品からスタートし、昨年10月に創業70年

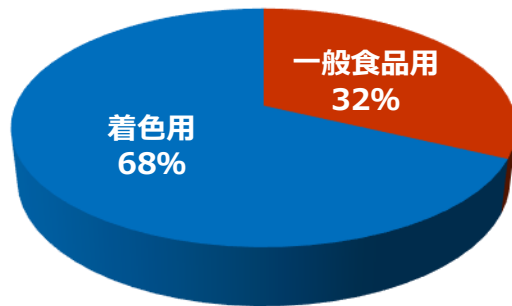


当社製品群の特徴

【カaramel製品】

自社商材

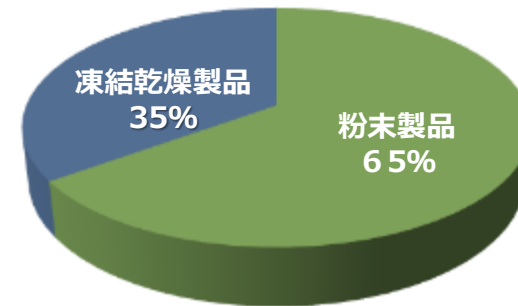
- ・国内シェアトップ
- ・デザート・シラップ向け製品に強み



【乾燥製品類】

自社商材／受託商材

- ・業務用粉末茶は業界第2位
- ・和風調味料の立ち上り堅調



【冷凍製品】

自社商材

- ・冷凍和菓子と冷凍山芋に特化
- ・冷凍和菓子は、**メディケア市場**を開拓
- ・冷凍山芋は、コンビニ向け開拓

【組立製品類】

受託商材中心

- ・造粒製品とブレンド製品に分類
- ・造粒製品は、**スポーツ・サプリ**や**コーン・スープ**に強み
- ・ブレンド製品は受託商材中心

消費者向け商材

①粉末茶群【煎茶、ほうじ茶】



聖 シリーズ



稀 シリーズ

【ラテ茶】



(宇治抹茶ラテ)



(泡立つ大麦ラテ)

【玄米茶】



Black tea

【麦茶】



【紅茶・フルーツティー】



(ディンブラ&アッサム)



(アップル&オレンジ)



(ライム&ミント)



(マンゴー)

【番茶】



【健康茶】



(ねじめびわ茶)

②お粥生活シリーズ



(長芋とろろ粥)



(おくらえのき粥)



(なめこ三つ葉粥)



(小豆さつま芋粥)



(めかぶクコの実粥)

③その他



(冷凍山芋)



(カラメルタブレット)

(カラメルタブレットピター)



④通販追加商材



(しっとりどら焼きシリーズ)



(ドームケーキシリーズ)



(粉末山芋)

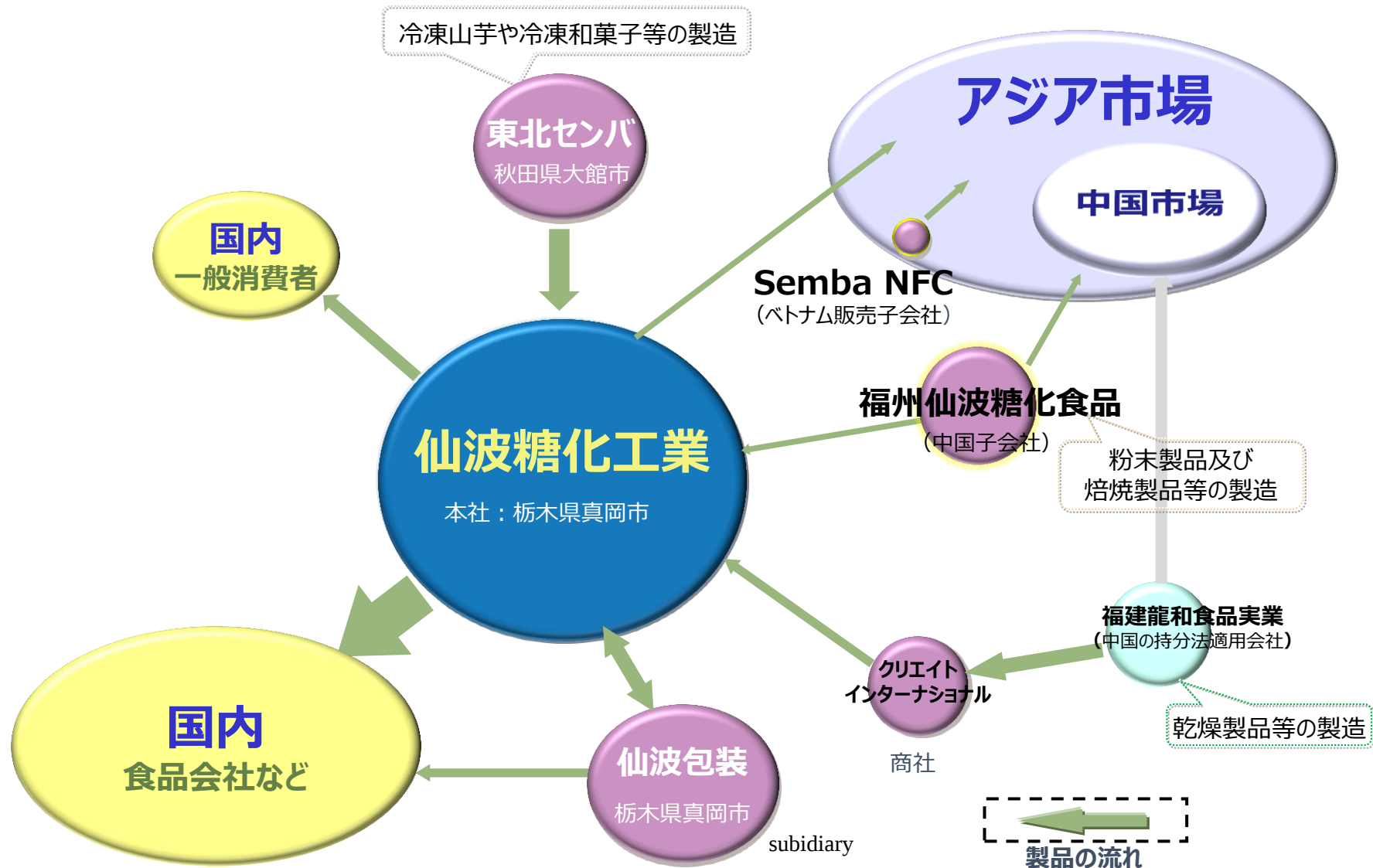


(粉末山芋)



(コーンスープ)

当社グループ



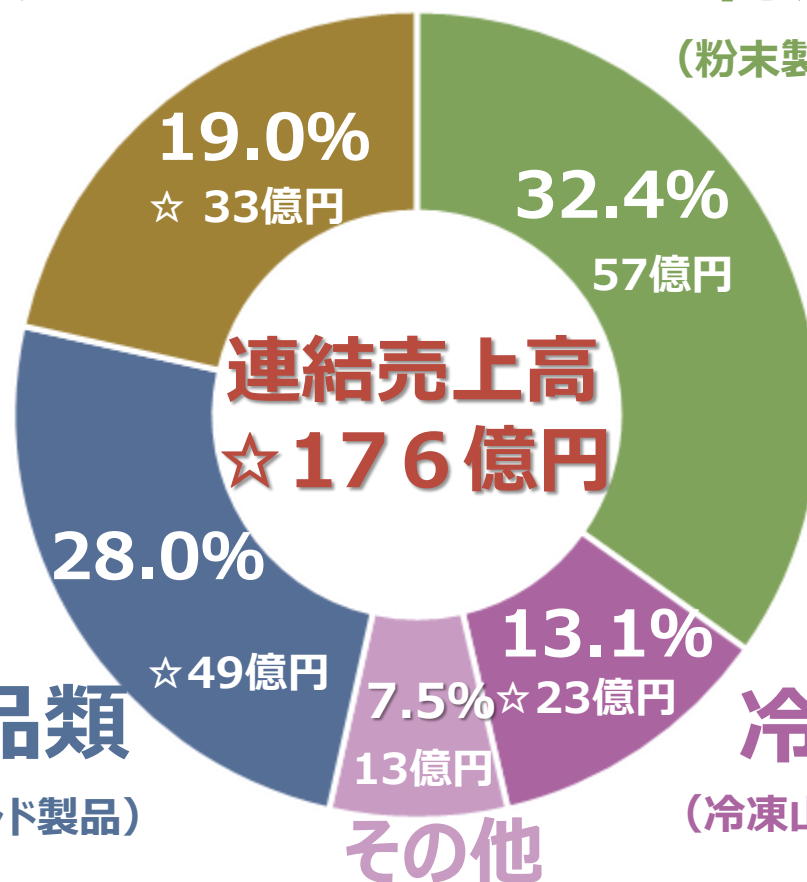
収益概況（2017/3期）

製品群別売上構成

カaramel製品

乾燥製品類

（粉末製品・凍結乾燥製品）



連結営業利益
☆ 7.2億円

組立製品類

（造粒製品・ブレンド製品）

冷凍製品

（冷凍山芋、冷凍和菓子）

（注） ☆印は過去最高

Ⅱ. 更なる成長に向けて

すべてのステークホルダーからの信頼を拡大

100年企業に向けた強固な基盤を構築

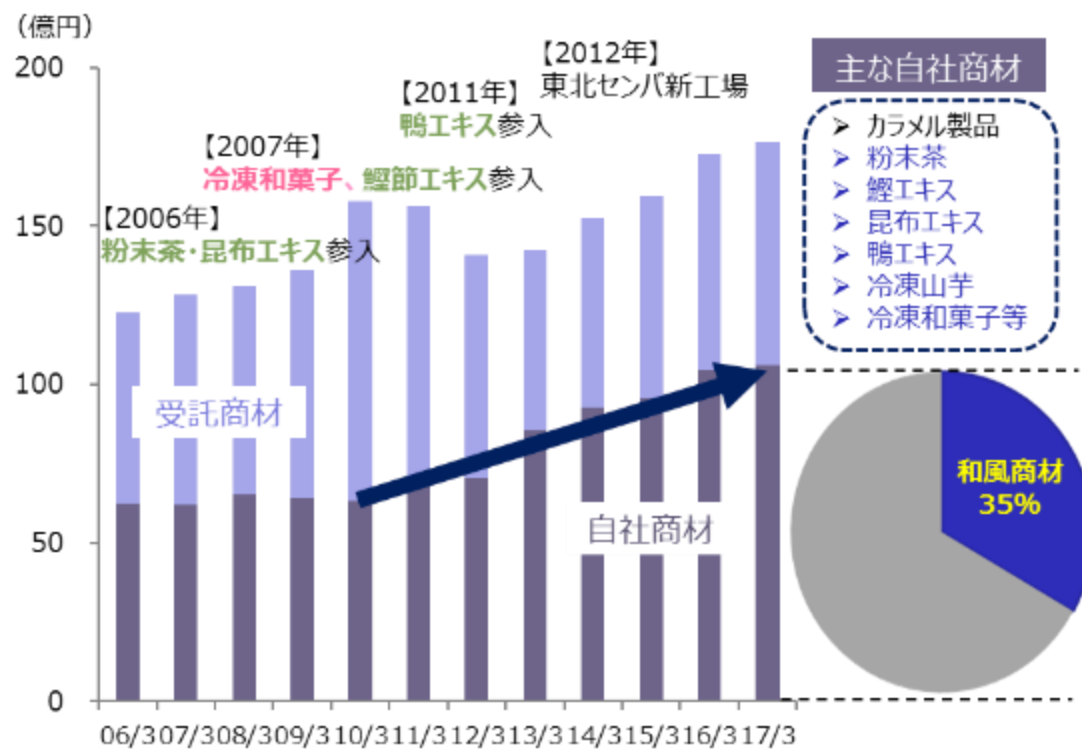


より良いものを作り、顧客信頼度を向上させ、
収益を伸ばすことで株主様、従業員、地域社会への還元を増やす
ブランド力を向上させ100年企業に向けての足場固め

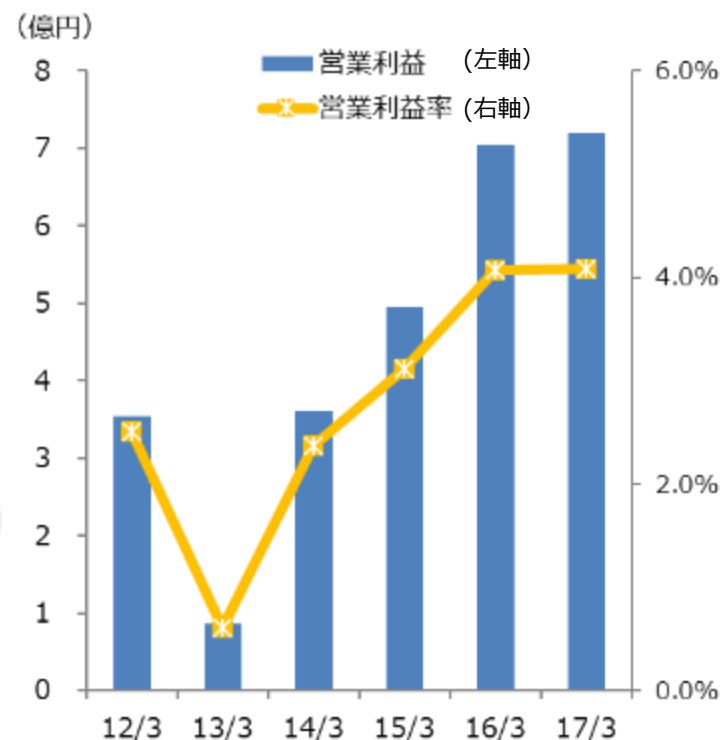
これまでの収益拡大の基本戦略と成果

自社商材の拡販とグループ経営力強化 (営業利益拡大と利益率向上の両立を目指す)

和風をキーワードに拡販続く自社商材



改善する営業利益と営業利益率



基本戦略の継続と更なる成長に向けた布石

営業利益拡大と利益率向上の両立追求は不変

収益拡大基本戦略

海外市場開拓に向けた
取り組み強化

自社商材中心の
提案営業強化

グループ経営力強化

今期の重点施策

- ✓ 中国生産拠点の最速整備
- ✓ 海外プロモーション強化

- ✓ 開発戦略室新設で
提案営業のサポート強化

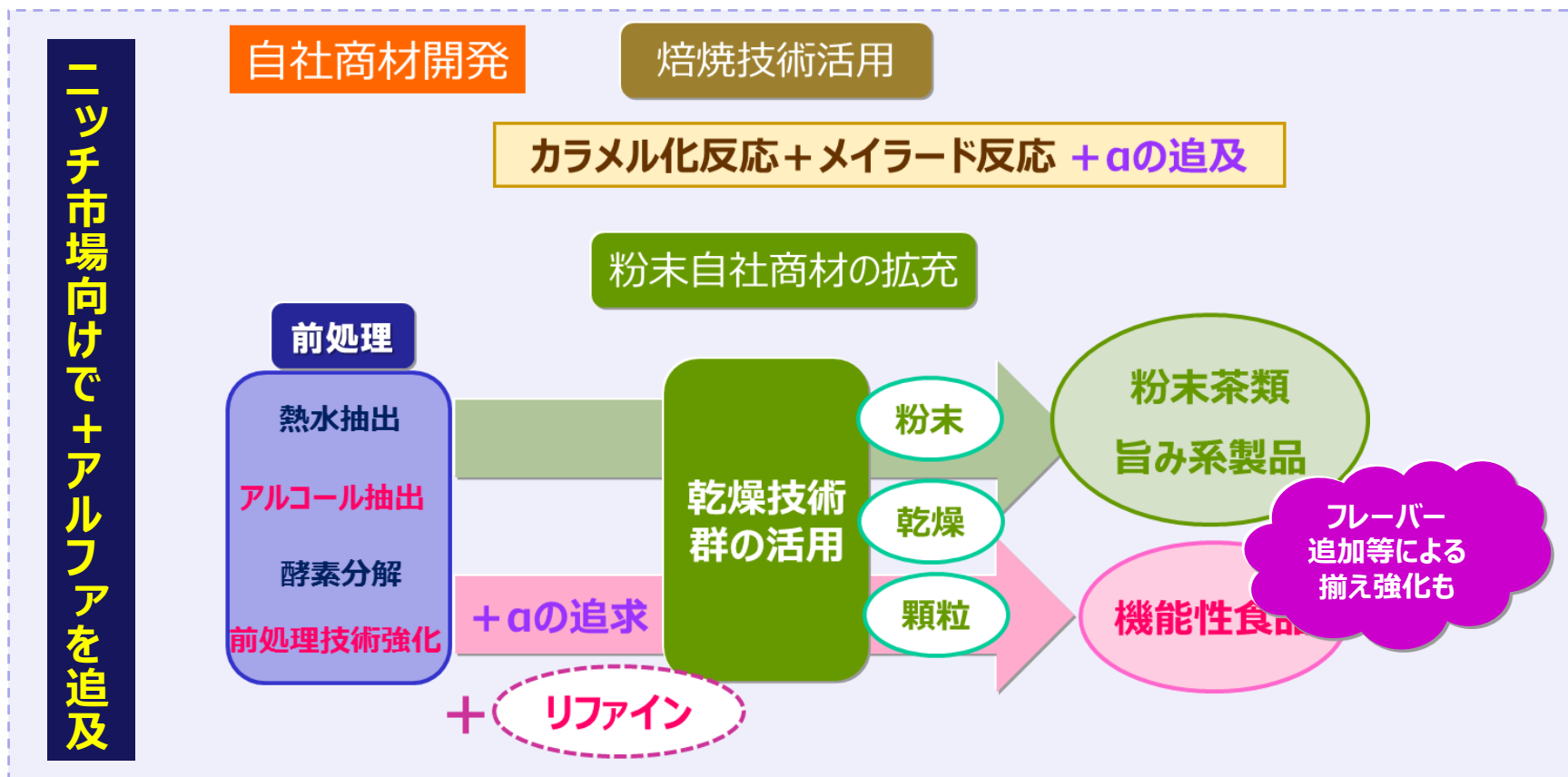
- ✓ 経営企画室新設で
連結経営力の強化

顧客が差別化可能な新商材の開発

開発戦略室新設

当社オリジナルの開発テーマの創生

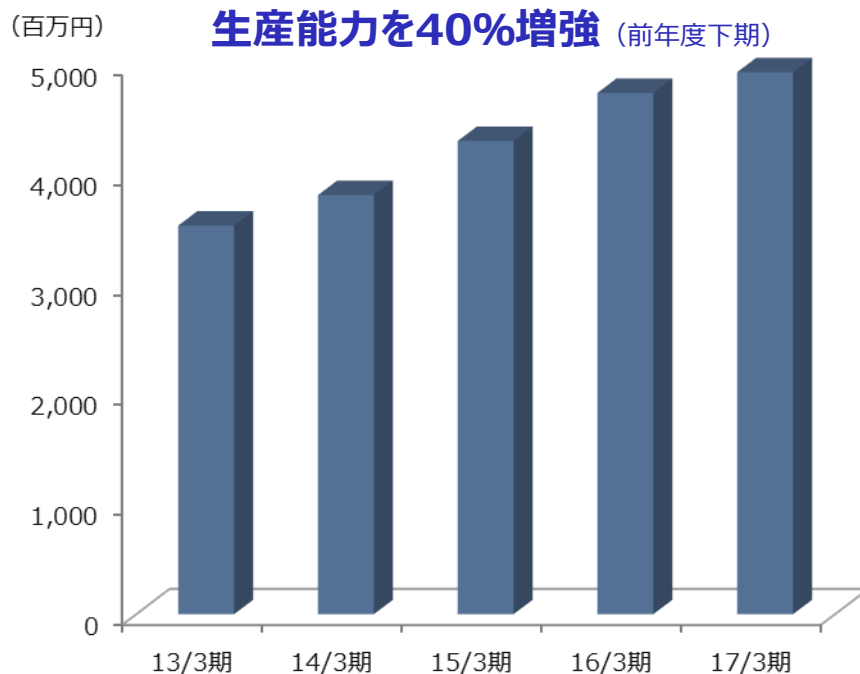
- ✓ 開発案件のスクリーニングとP D C Aサイクルの強化
- ✓ 顧客ニーズの収集強化
- ✓ 資材部と連携した原料の見直し



組立製品類は、顧客ニーズに応える**レシピ力**がポイント

“溶け易く”などの**レシピ力**を前面に出した**提案営業を強化**

健康食品関連商材が牽引する
組立製品売上高



当社の健康食品関連商材

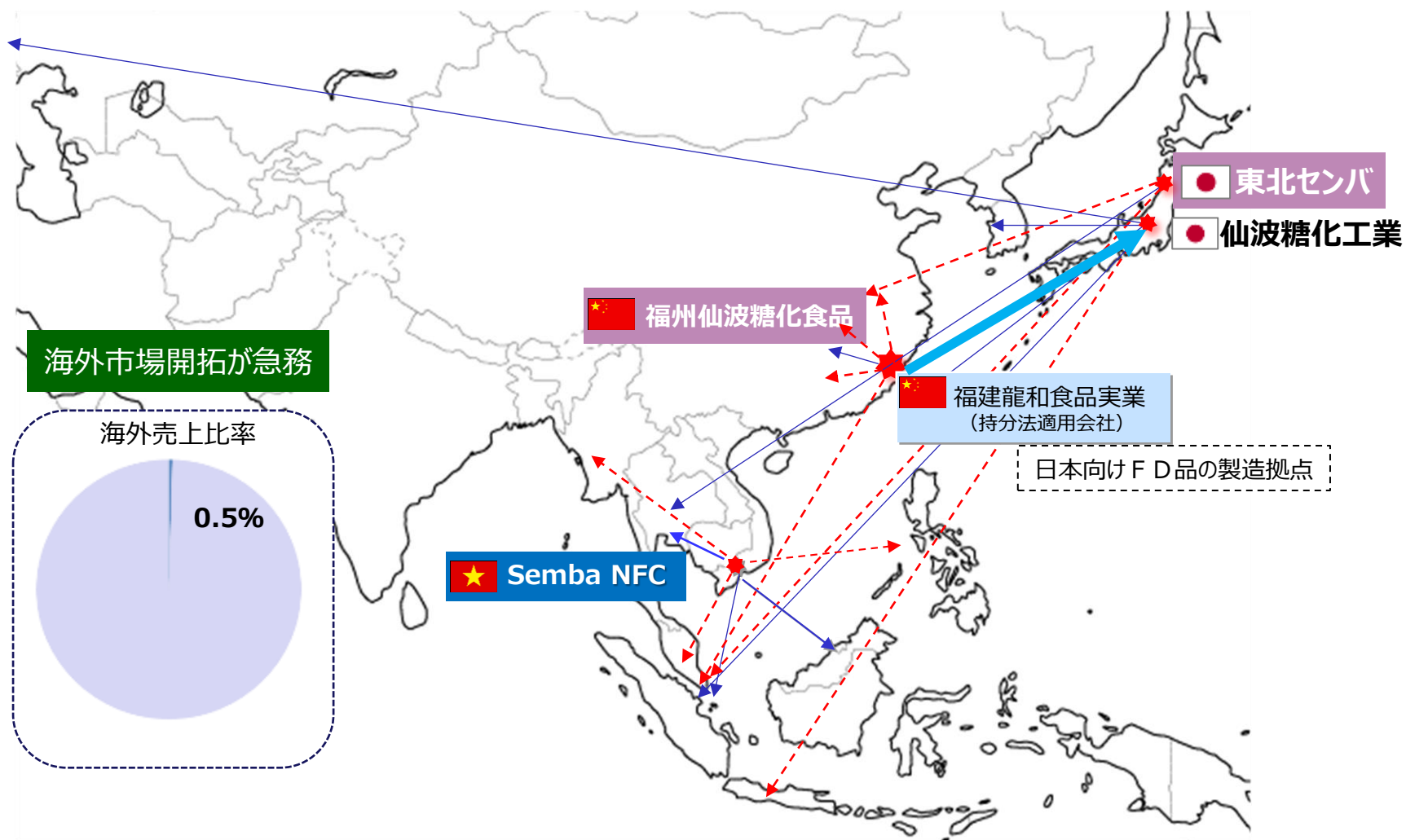
- ✓ スポーツサプリメント
- ✓ 美肌関連
- ✓ その他

健康食品関連商材の売上構成
(17/3期)



海外市場戦略

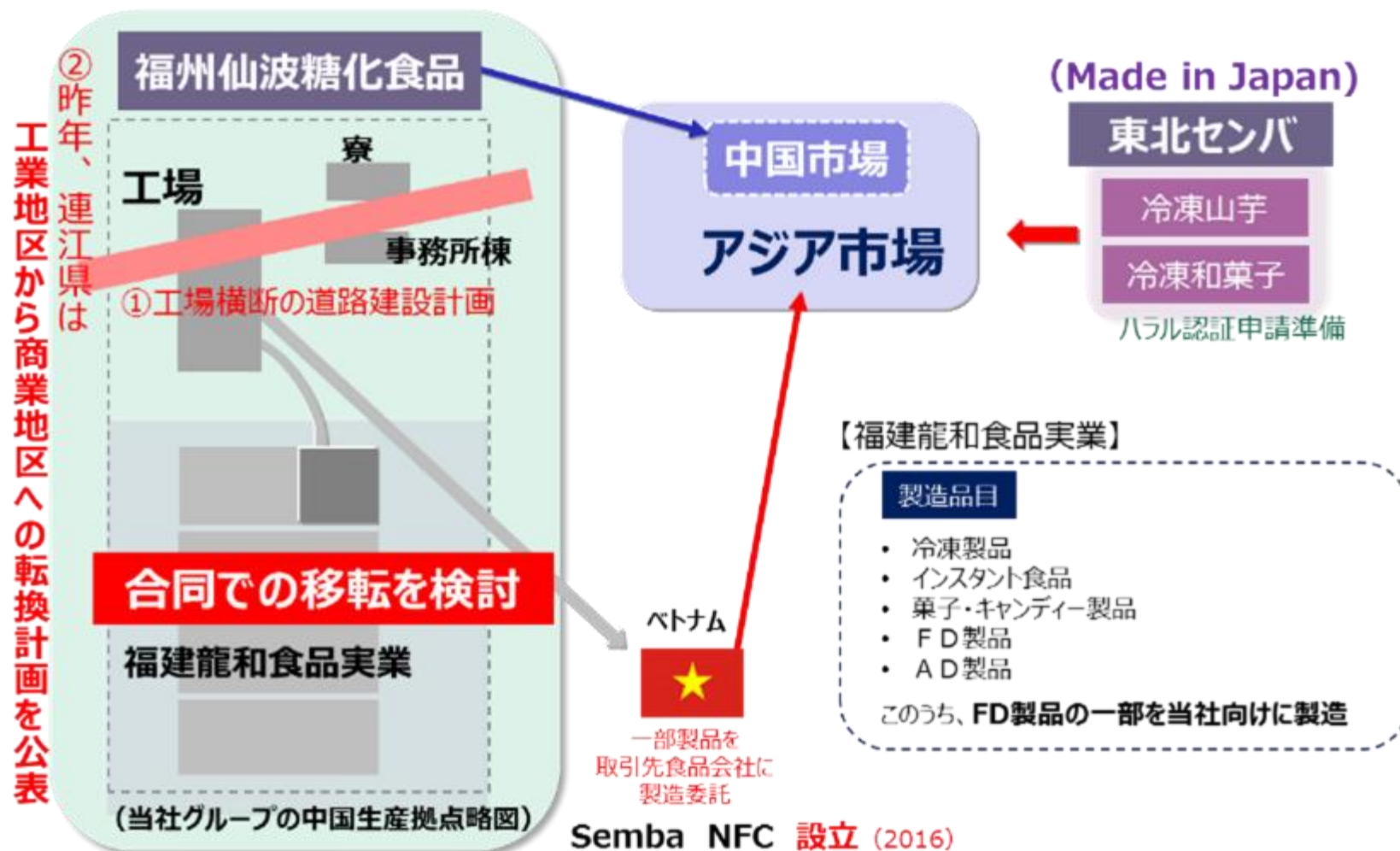
日・中・ベトナム3拠点を軸に海外市場の開拓を推進



中国子会社移転問題

①工場横断の道路計画⇒福州仙波糖化食品の設備を関連会社とベトナムの取引先に移管（製造委託）

②連江県による商業地区への転換計画発表⇒関連会社と共同で工場を移転へ



工場移転計画

現在地：福州長樂国際空港から車で約1時間

移転予定地：現在地から北へ10km弱

工場建設開始予定 2017年12月
完成予定 2018年秋頃



和風とハラルがキーワード

カaramel製品

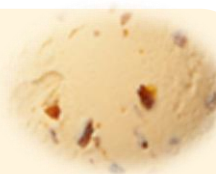
着色用とシラップ類
ハラル認証取得

カaramelクラッシュ品本格納入に向けて営業強化

コーティング焙焼品

シラップを固型化し、キャンディーチップとして
アイスクリーム向けなどに販売。

当社開発品は、30度以上でも溶けにくいことがポイント



粉末茶

ラテ茶、粉末茶の納入開始

ハラル認証取得

ブランド初表示のラテ茶



冷凍山芋

納入開始



ハラル認証申請準備中

冷凍和菓子

どら焼きは納入開始



常温流通対応品の開発強化

	プロモーション活動など	展示品など
2015	ミラノ万博	ラテ茶など
	Fi ASIA 2015 (タイ)	アジアの食材見本市視察
2016	FHA (シンガポール) *1	冷凍山芋、冷凍和菓子、カaramelシラップ
	Thaifex (タイ) *2	冷凍山芋、冷凍和菓子、カaramelシラップ、インスタント茶、抹茶ラテ
	Food Japan (シンガポール) *3	冷凍山芋、冷凍和菓子、カaramelシラップ、インスタント茶
2017	タイの代理店主催の商談会	抹茶ラテ、カaramelシラップ、冷凍山芋、インスタント茶 (ターゲットは日本食レストラン、リテール、ホテル等)
	FABEX (日本)	抹茶ラテ、カaramelシラップ等
	Thaifex (タイ) *2	冷凍和菓子、冷凍山芋、カaramelシラップ、インスタント茶、抹茶ラテ
	Vietfood & Beverage (ベトナム)*4	抹茶ラテ、カaramelシラップ
	Fi ASIA 2017 (タイ) *5	カaramelシラップ等

*1) FHA (シンガポール最大の食品総合展示会) *2) Thaifex (タイ最大の食品総合展示会) *3) Food Japan (日本食展示会)

*4) Vietfood & Beverage (ベトナム南部最大の食品展示会) *5) Fi ASIA (タイ) (アジア最大級の食品原材料の展示会)

海外市場での納入実績

取引継続と点を面に広げられるかがポイント

国名	商材	向け先
中国	どら焼き カラメルシラップ	リテール 食品メーカー
シンガポール	どら焼き、 カラメルシラップ、カラメルクラッシュ 抹茶ラテ	日本食レストラン 食品メーカー OEM商材
タイ	冷凍山芋、 カラメルシラップ、カラメルクラッシュ 日本製のインスタント茶 抹茶ラテ（Semba-NFCブランド品）	日本食レストラン、リテール 食品メーカー 日本食レストラン、リテール 日本食レストラン、リテール
ベトナム	カラメルシラップ、カラメルクラッシュ 抹茶ラテ（Semba-NFCブランド品）	カフェ、日本食レストラン リテール
マレーシア、ブルネイ	抹茶ラテ	OEM商材
スペイン	粉末醤油	

Ⅲ. 業績予想と株主還元

【2018/3期第1四半期業績】

- 6.7%増収、24.5%営業増益。
- カラメル製品、粉末茶拡販に加え、健康食品の受注が好調

(単位：円、百万円)

	2017/3期		2018/3期		
	1Q実績	前同比 伸び率	1Q実績	前同比 伸び率	上期予想に 対する進捗率
売上高	4,371	+7.6%	4,665	+6.7%	51.8%
営業利益	174	+35.1%	217	+24.5%	64.0%
経常利益	171	+49.6%	212	+23.6%	60.7%
四半期純利益	105	+52.4%	128	+22.5%	55.9%
一株純利益	9.23	-	11.28	-	

【2018/3期通期業績予想】

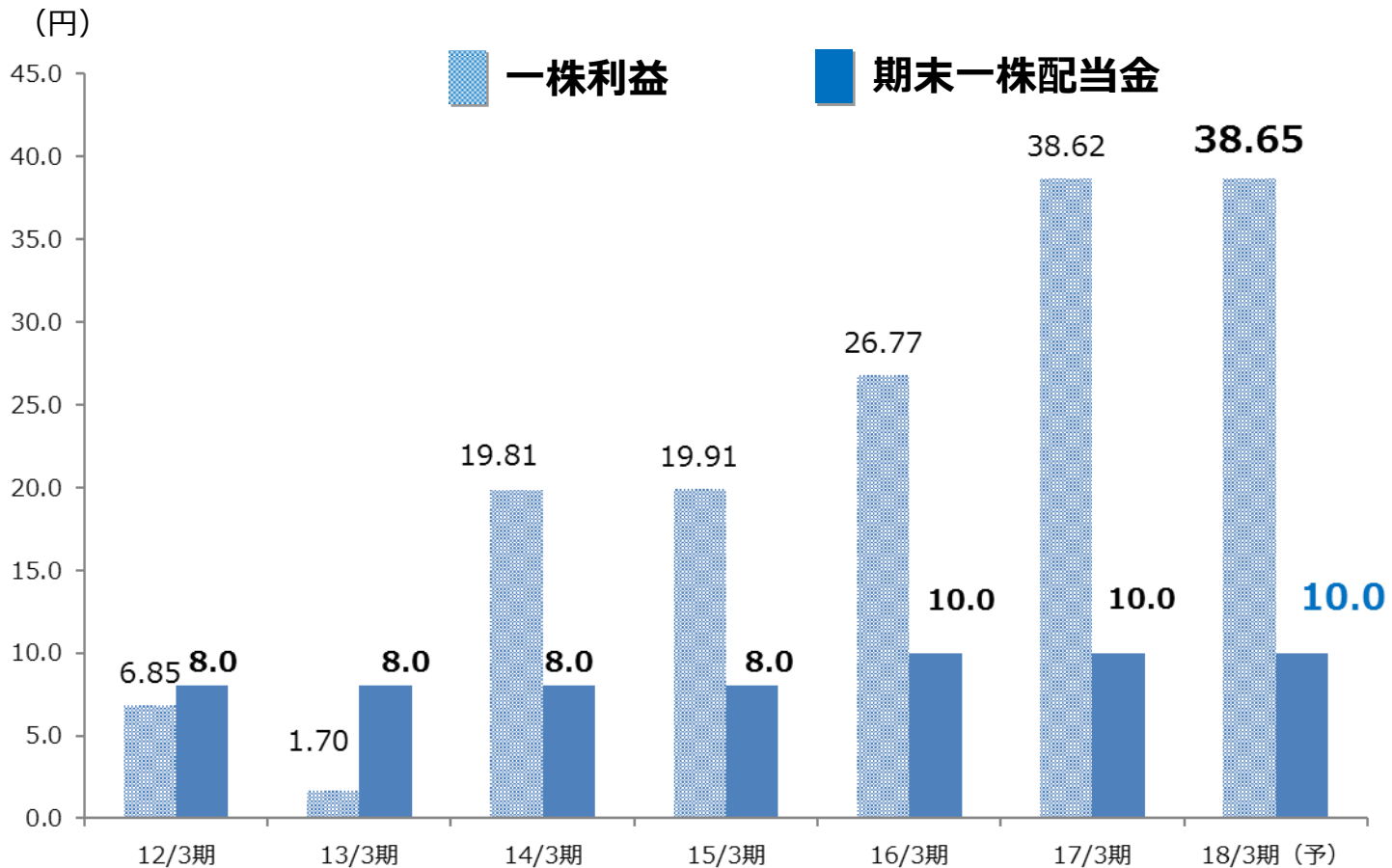
連結売上高、連結営業利益とも過去最高を更新の予想



(注) 連結決算開始は2009/3期

株主還元（配当金）

18/3期の配当金は10円/株を計画



株主還元（株主優待）

対象となる株主様

9月30日現在、**5単元（500株）以上保有**の株主様が対象。

株主優待の内容

3年未満保有の株主様

自社製品 **3,000円相当**

3年以上保有の株主様

自社製品 **5,000円相当**

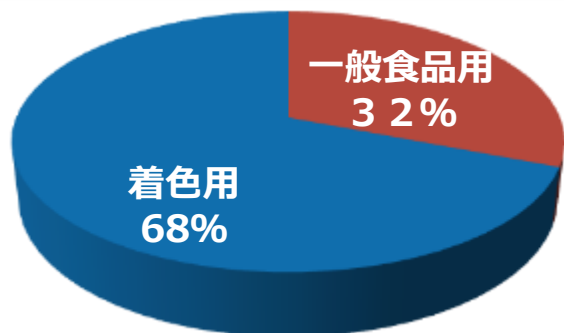
2016年度の優待品 5,000円相当



(参考資料)

- 創業商材。国内シェアはトップ。
- 高付加価値のデザート・シラップ向け新製品開発に注力。

用途別カaramel製品売上構成



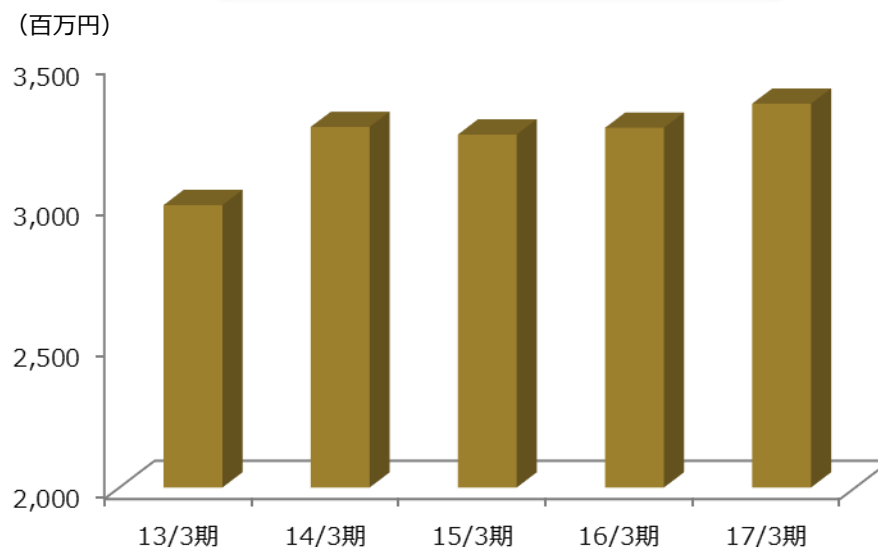
一般食品用

プリン等のデザート向けやココ味調味料向けが主力。
バウムクーヘンやクリームブリュレ等の高級洋菓子
向け需要が拡大。

着色用

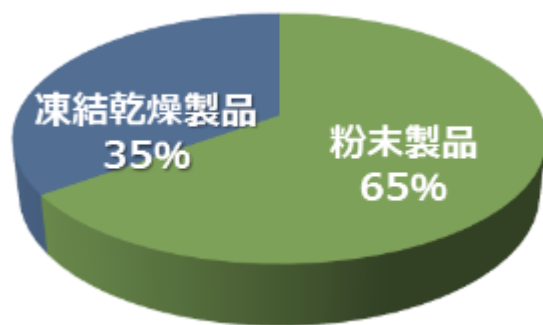
清涼飲料やアルコール飲料、ソース、カレー等

カaramel製品売上推移



【事業概要】 【乾燥製品類事業】

- 売上高の約80%は食品メーカー向け。
- 粉末茶は業務用で業界第2位。
- 粉末製品、凍結乾燥（F D）製品ともに自社商材開発を強化。



自社商材群

粉末山芋

お粥生活シリーズ

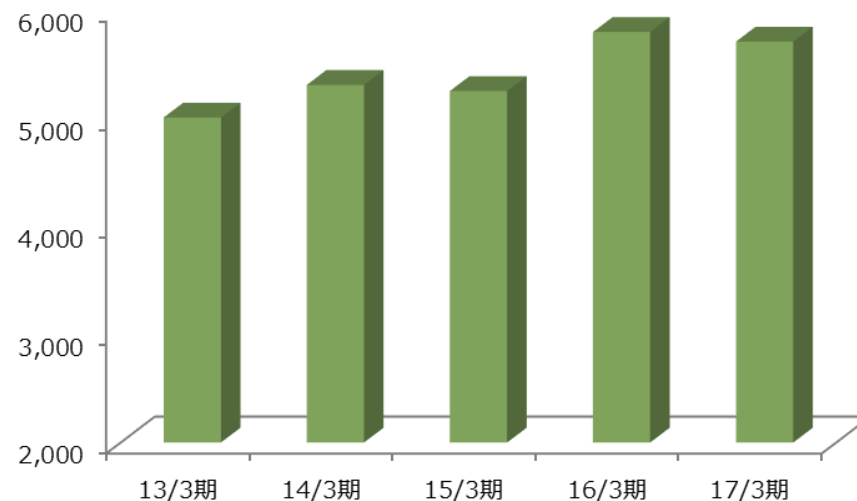
粉末茶シリーズ
（日本茶、紅茶、健康茶）

鰹エキス

昆布エキス

乾燥製品類売上推移

（百万円）



当社の和風調味料

当社の和風調味料 …… 食品メーカー向けなどに販売

昆布



前処理

乾燥

粉末製品

鰹節



椎茸



鴨



エキス抽出



(スプレードライ)

◎ 昆布エキス
【平成18年参入】

△ 鰹節エキス
【平成19年参入】

○ 椎茸エキス
【平成19年参入】

○ 鴨エキス
【平成23年参入】

【事業概要】

【冷凍製品事業】

- 冷凍和菓子は、**メディアケア向け市場を開拓**。
- 冷凍山芋は、コンビニ向け開拓や**新メニュー提案**で販売強化。

冷凍和菓子

- ・ 業務用として、**約 50 種類**を販売
- ・ **一部は消費者向け販売**。



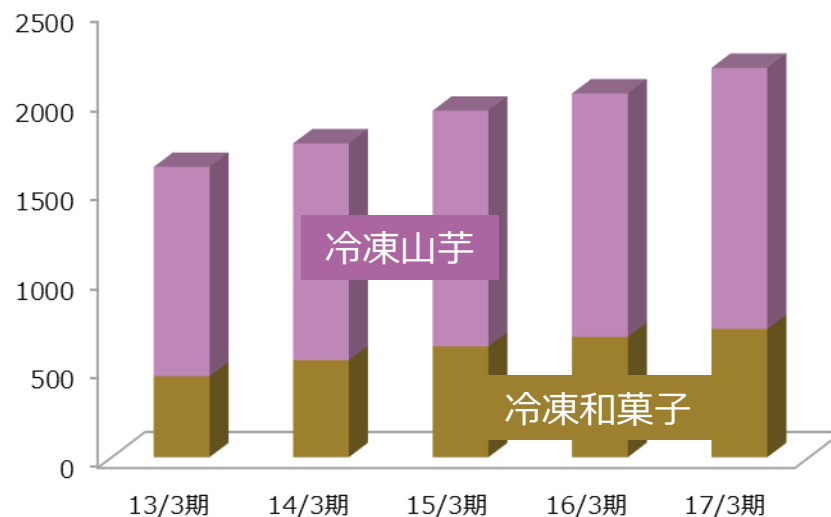
冷凍山芋

【一部は消費者向け販売】



冷凍製品売上高推移

(百万円)



【事業概要】

【組立製品類事業】

造粒製品

スープ類、粉末スポーツ飲料、
ココア、調味料、健康食品等



造粒とは

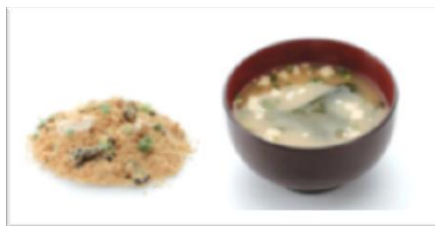
流動層造粒装置を用い、粉末食品の「溶けにくい」、「流動性が悪い」、「吸湿性が強い」等の欠点を改善し、より使い易い最終商品へ仕上げる。

流動層造粒装置



ブレンド製品

小麦粉ミックス、唐揚げ粉、みそ汁
ソース、調味料、粉末エキス等



ブレンドとは

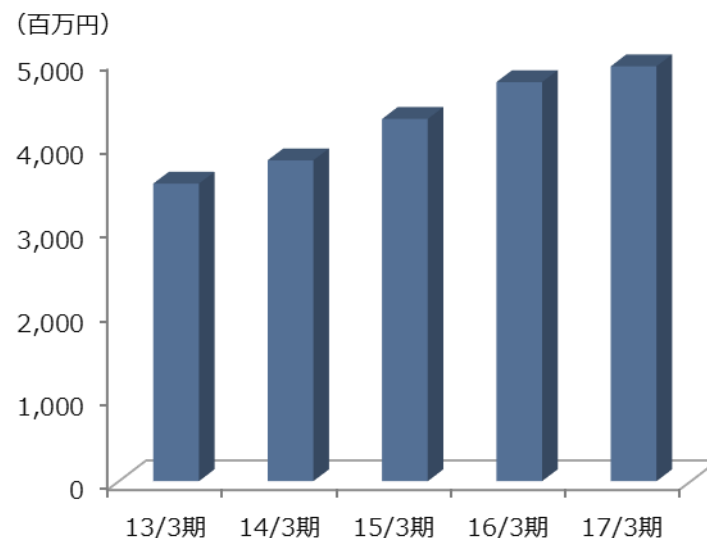
円錐状ブレンダーを用い、各種原料を混合し、原料の持ち味を活かした粉末状調味料やインスタント食品を製造。

円錐状ブレンダー



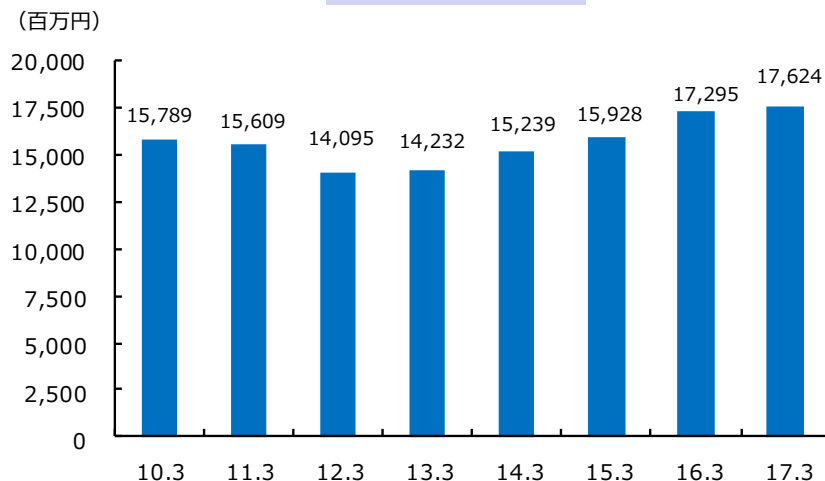
- ✓ ブレンド製品は、顧客ニーズに応える**レシピカ**に強み。
- ✓ 造粒製品は、受託商材のウエート高く、収益変動大。
- ✓ “溶け易く”などのキーワードで**提案営業**を強化。

組立製品類売上推移

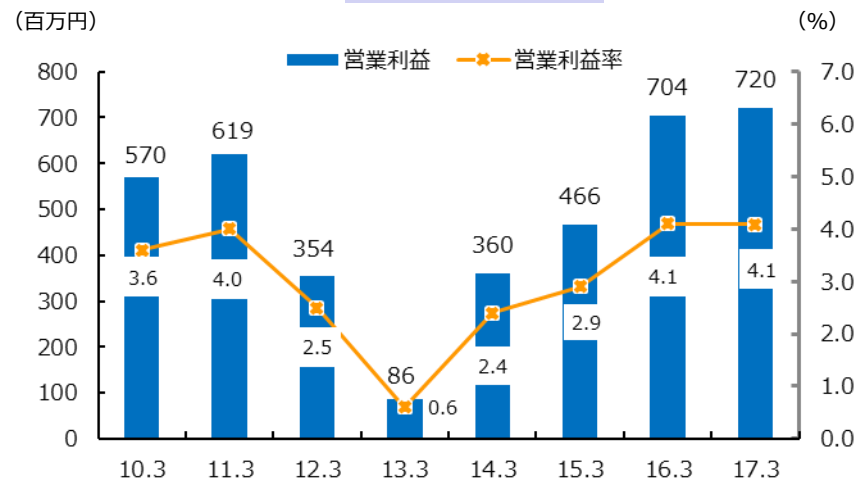


主要財務データ（１）

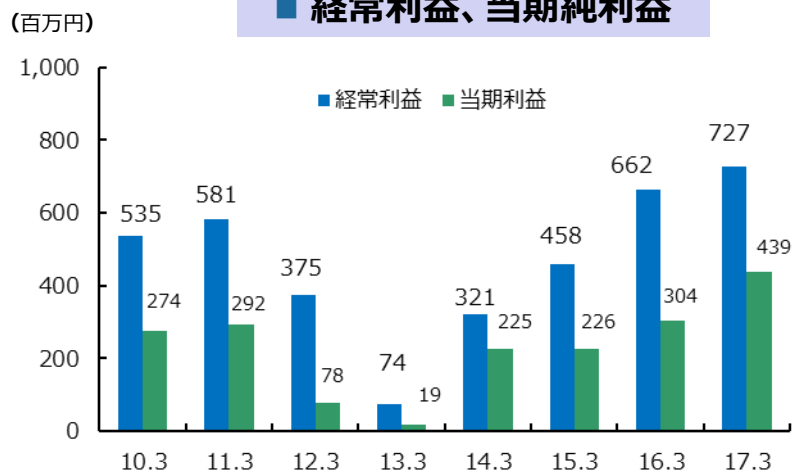
■ 売上高



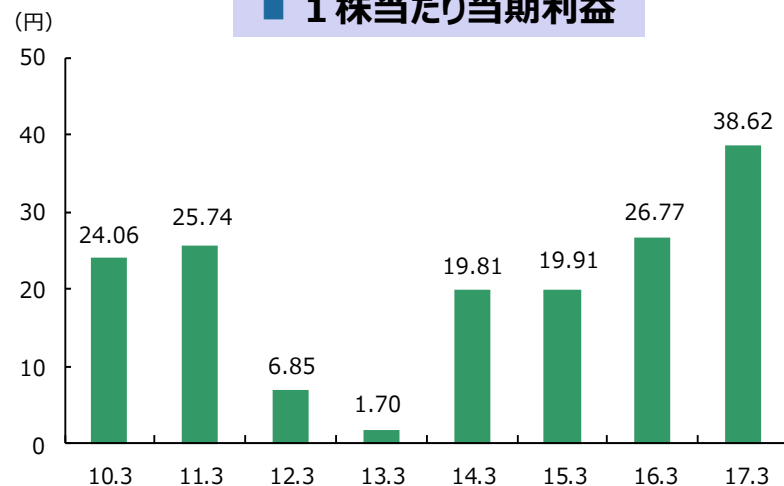
■ 営業利益



■ 経常利益、当期純利益

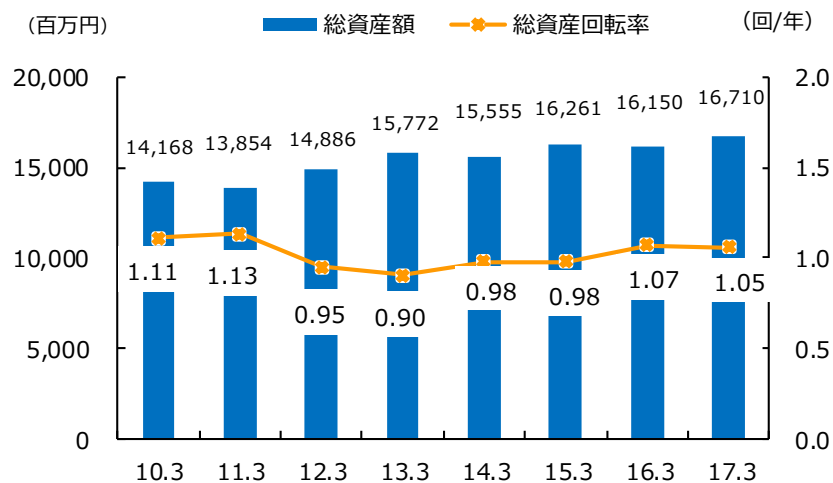


■ 1株当たり当期利益

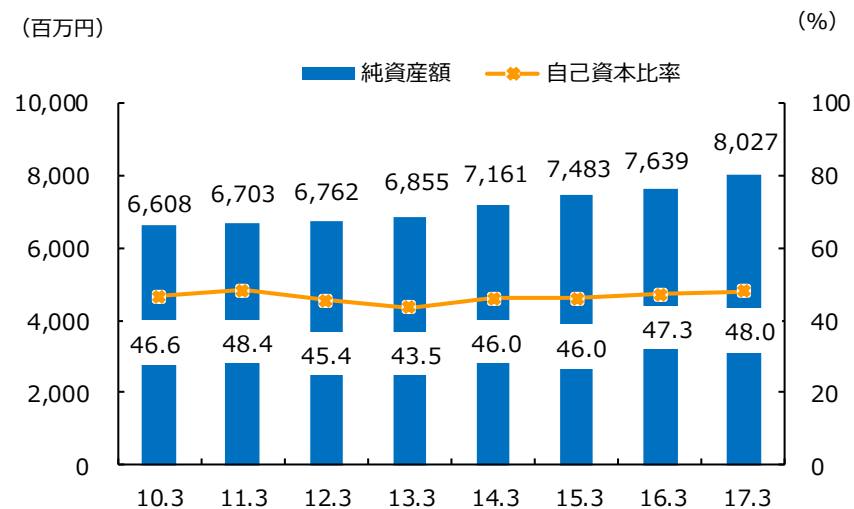


主要財務データ（2）

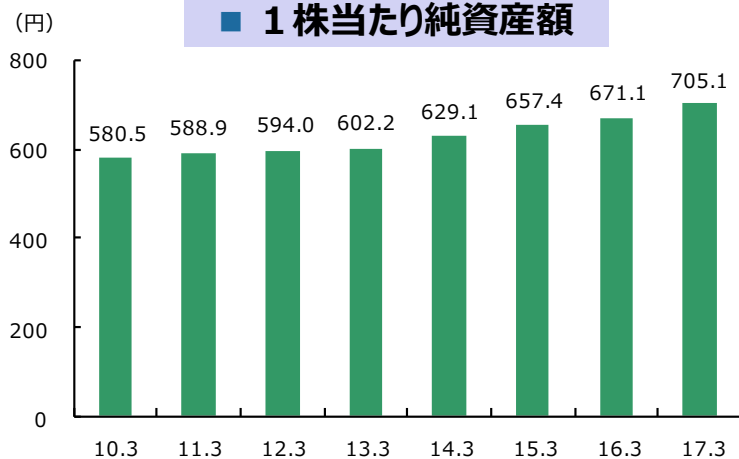
■ 総資産、総資産回転率



■ 純資産額、自己資本比率



■ 1株当たり純資産額



〈お問い合わせ先〉
仙波糖化工業株式会社
総務部 IR担当

TEL: 0285-82-2171

FAX: 0285-84-3283

E-Mail : ir@sembatohka.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.sembatohka.co.jp/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。